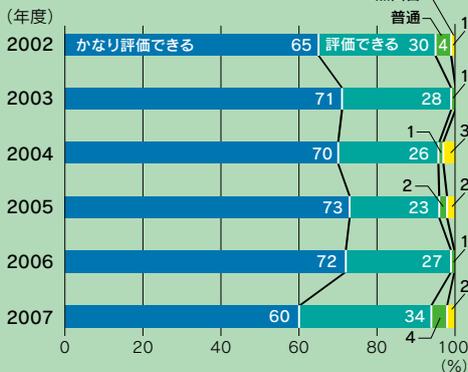


アンケートにご回答いただいた皆様のご意見を活動や報告書の改善につなげています。

アンケート結果

2008年4月末現在、日本語版17,700部の発行実績に対して、97件の回答をいただきました。主な内容は以下の通りです。

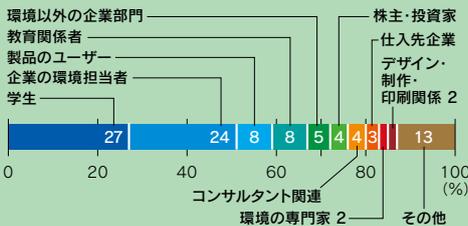
① リコーグループの活動内容についてどう評価されましたか？



② この報告書でとくに興味をもたれたページがごありますか？

- 1位 事業所 省エネルギー・温暖化防止
- 2位 環境社会貢献
- 3位 特集:リコーグローバルエコアクション
- 3位 超長期環境ビジョンと環境経営の推進
- 5位 特集:リコーツリーティケーションプログラム
- 6位 特集:リコー・環境NPOミーティング
- 6位 製品 省エネルギー・温暖化防止
- 6位 製品 省資源・リサイクル
- 9位 2006年度 環境経営の概況
- 9位 私たちの目指す姿(Three Ps Balance)
- 9位 製品 製品開発の考え方

③ この報告書をどのような立場でお読みになられていますか？



2007年版に対するご意見の一部と2008年版での対応

○環境経営報告書だけではなく、リコーホームページも合わせて見ないとわからない情報がいくつかあった。

▶紙の報告書とホームページのそれぞれの特性を活かした情報開示の切り分けの工夫を進めています。この報告書の発行に合わせて、ホームページをリニューアルしました。最新事例は両方に掲載しておりますが、過去に開始し今なお有効に効果を上げているものについてはホームページに掲載しています。
(<http://www.ricoh.co.jp/ecology/>)

○リコーの製品開発のお手伝いをしています。環境経営報告書を読み、リコーの業務に関わることで地球環境に貢献出来るのが分かり、私どもも誇りが持つことができました。

▶リコーグループ内部の環境負荷だけでなく、上流(原材料/部品調達)、製品使用(電力・紙消費、保守)、下流(廃棄・リサイクル)における環境負荷削減にも取り組んでいます。2007年度からはライフサイクル全体で見た環境経営指標が加わり、事業活動全体に係る環境負荷削減状況がよりとらえやすくなりました。また、パートナー企業様の環境負荷削減に役立つツールをご提供しています。 (8.13ページ)

○ネガティブ情報(土壌汚染、訴訟など)を示してもらいたい。

- ▶土壌汚染と罰金・科料の情報を掲載しています。 (52ページ)
- ▶財務会計における環境債務の把握を開始しました。 (49ページ)

○コーポレート環境会計など、難解な部分のポイント(算定のための)を示してほしい。

▶コーポレート環境会計、環境経営指標などの主要項目には算定式を示しました。また、必要な用語解説を個々のページに掲載しています。 (8.57ページ)

○就職活動において、会社選択のひとつの指針となればよいと思いつつ読みました。また、具体的な取り組みを知ることで、将来どういった目標に向かって自分が行動すればよいのかを知る手がかりを見つけることも目的でした。常に高い目標設定と、具体的な実現で環境貢献を行っているリコーという会社にすごく興味を持つことができ、そして自分自身働きたいという意欲がわきました。